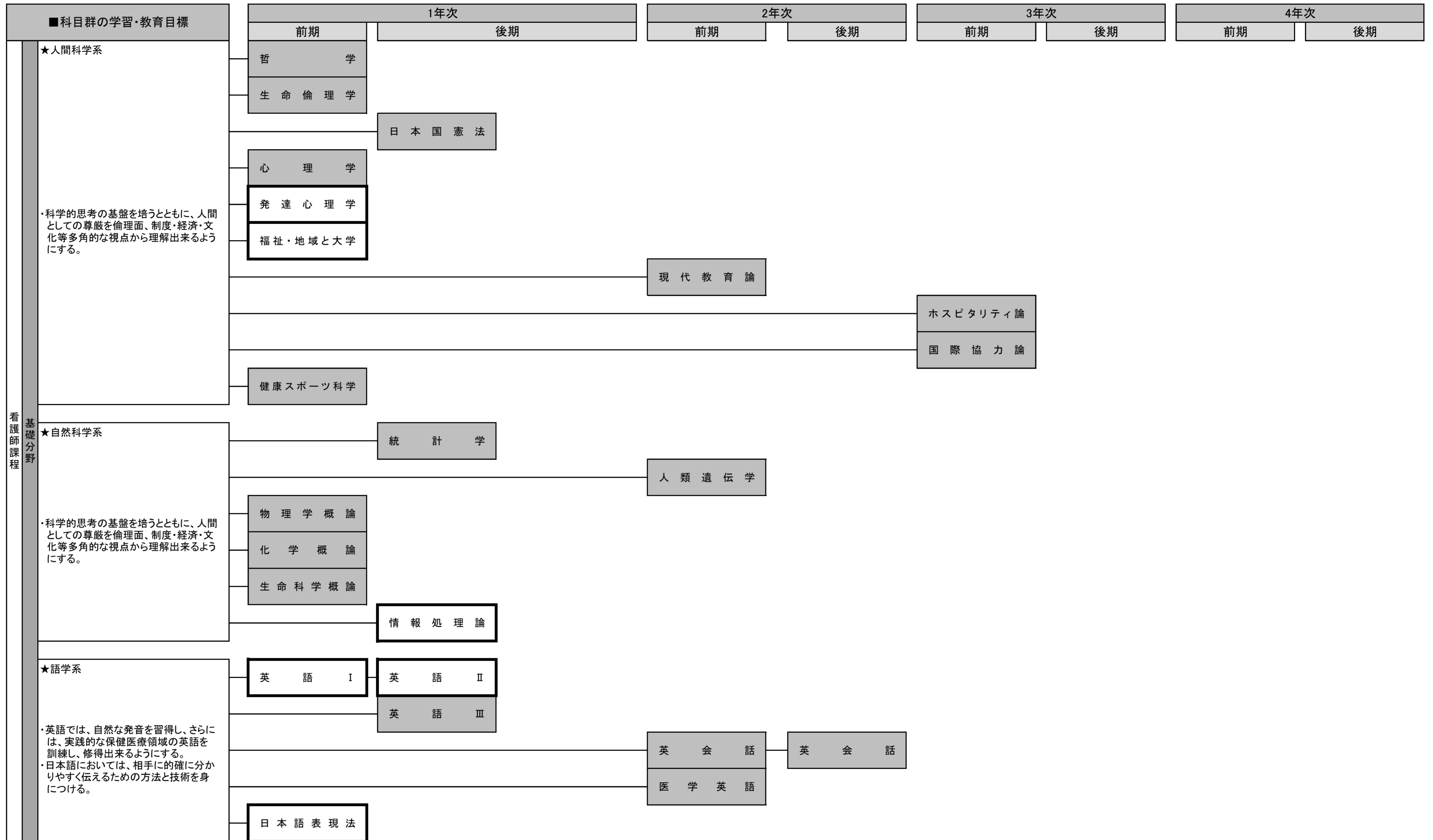


・幅広い分野にわたって教養を養い、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とする医療職者としての倫理観を持ち、日常場面、職場、研究の場において必要な、基礎的な他言語のコミュニケーション能力をを持つ人材を養成する。



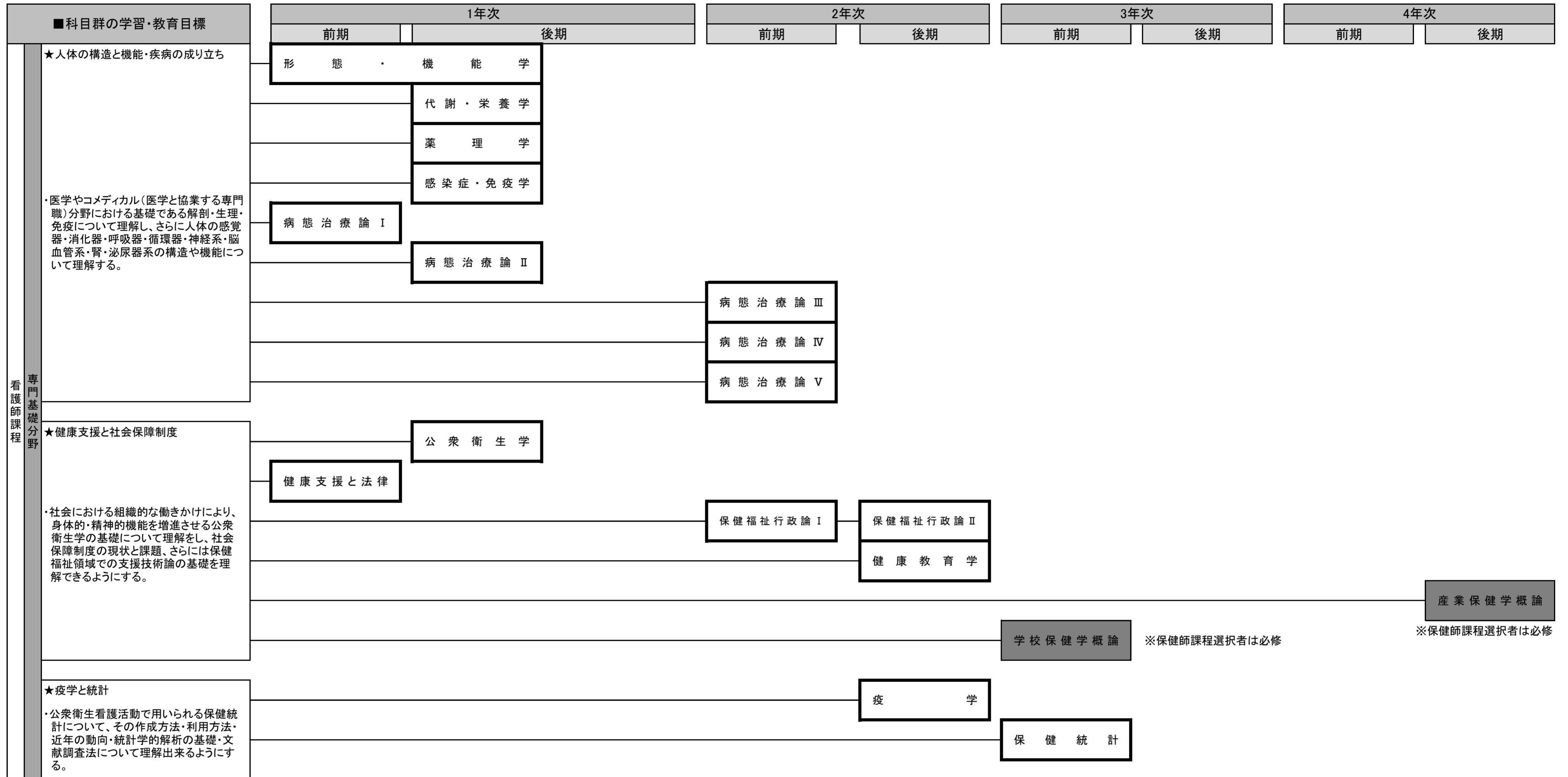
看護学科看護学専攻(平成28年度学則)【専門基礎分野】■学習・教育目標

必修科目

選択必修科目

選択科目

・「さまざまな健康レベルにある人々のQOLの向上への支援が実践出来る看護師」に必要な基礎学力の向上と専門分野へスムーズに進む為に、専門分野において求められる医学基礎と看護師としての基礎的能力を学び、それらの知識を取り込む能力を養う。

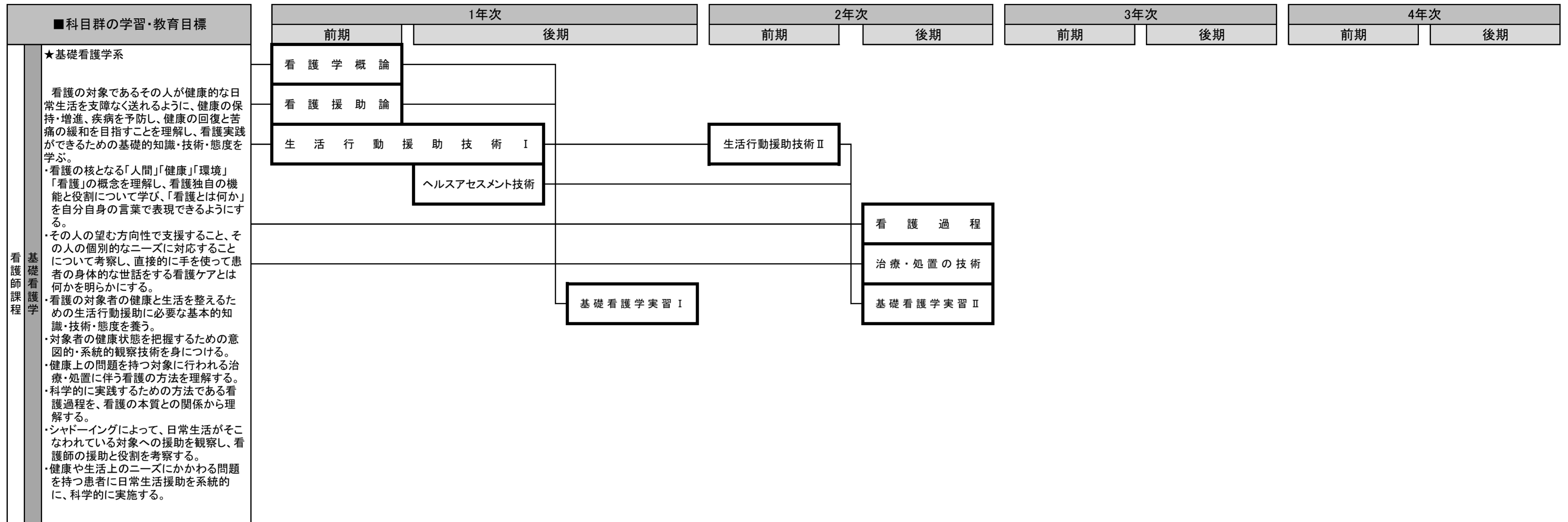


看護師課程 専門基礎分野

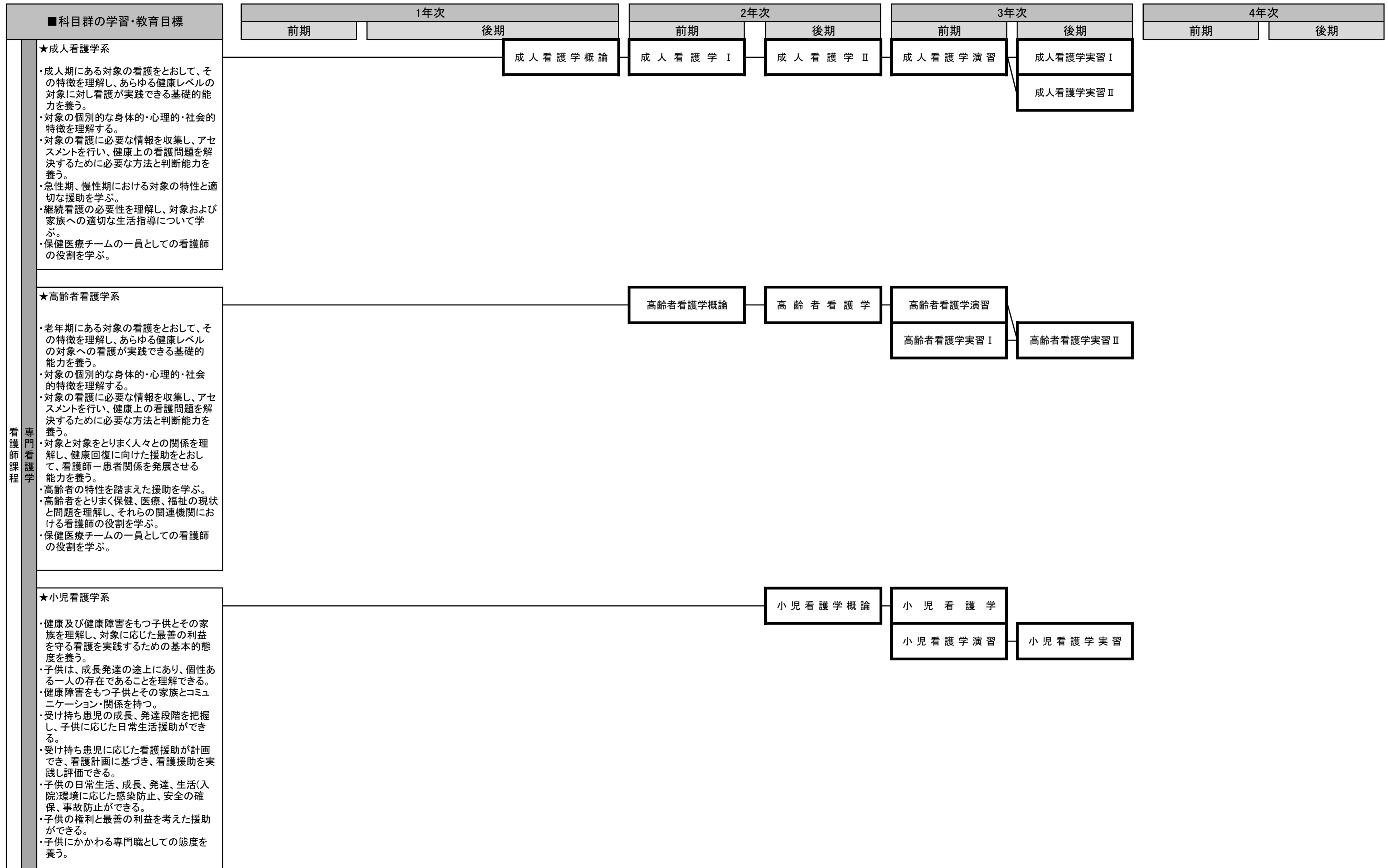
※保健師課程選択者は必修

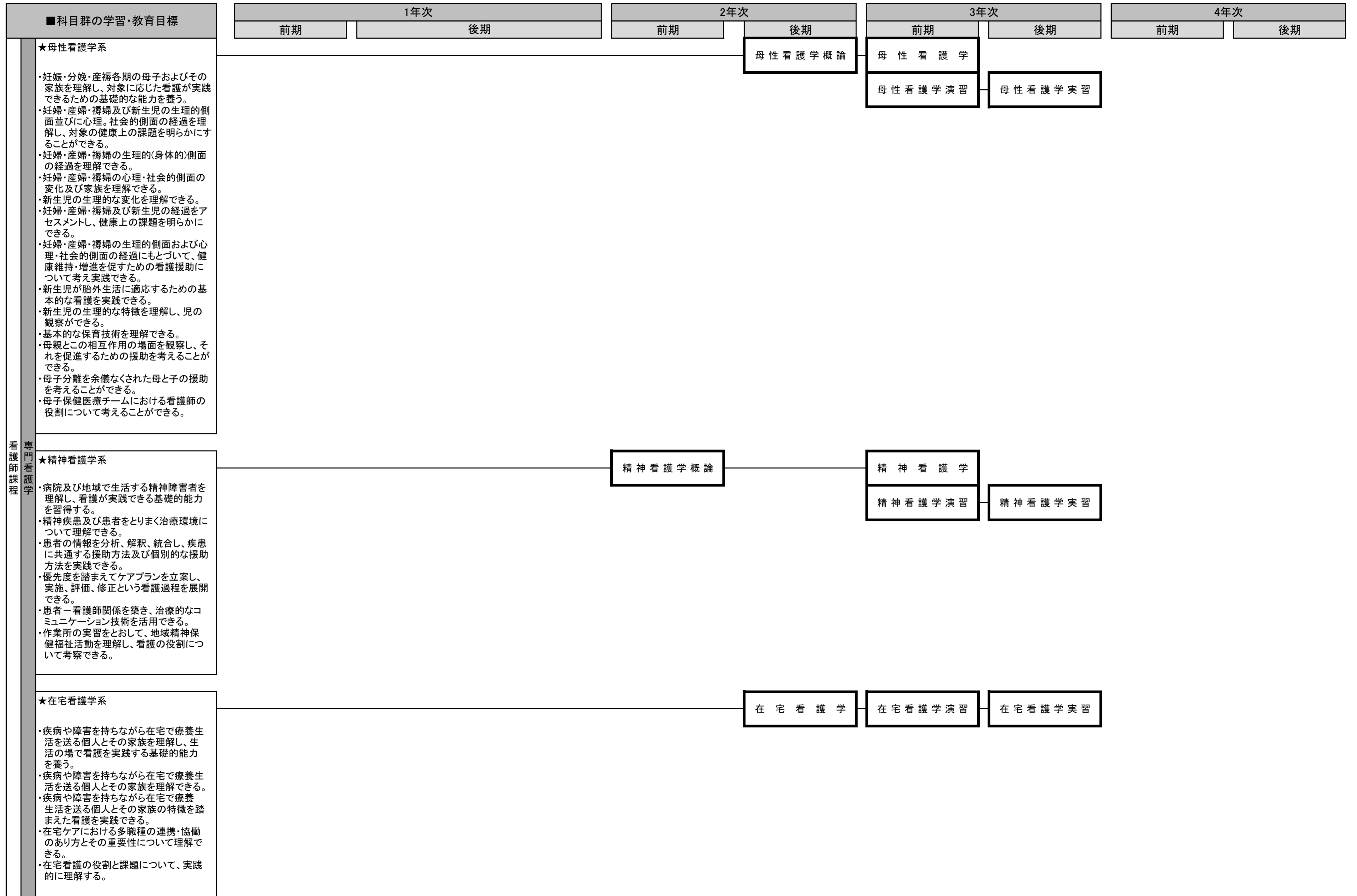
※保健師課程選択者は必修

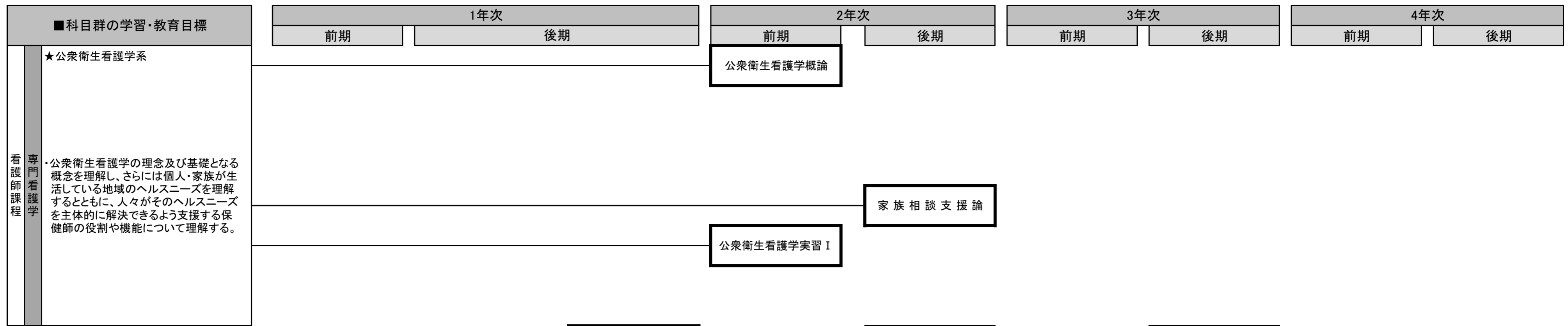
・看護の機能・役割を理解し、患者にあった看護方法を日常生活援助を通して実践する能力を養う。



・さまざまな対象の状態の変化や特徴を捉え、個性のある適切な看護が実践できるための能力を養う。







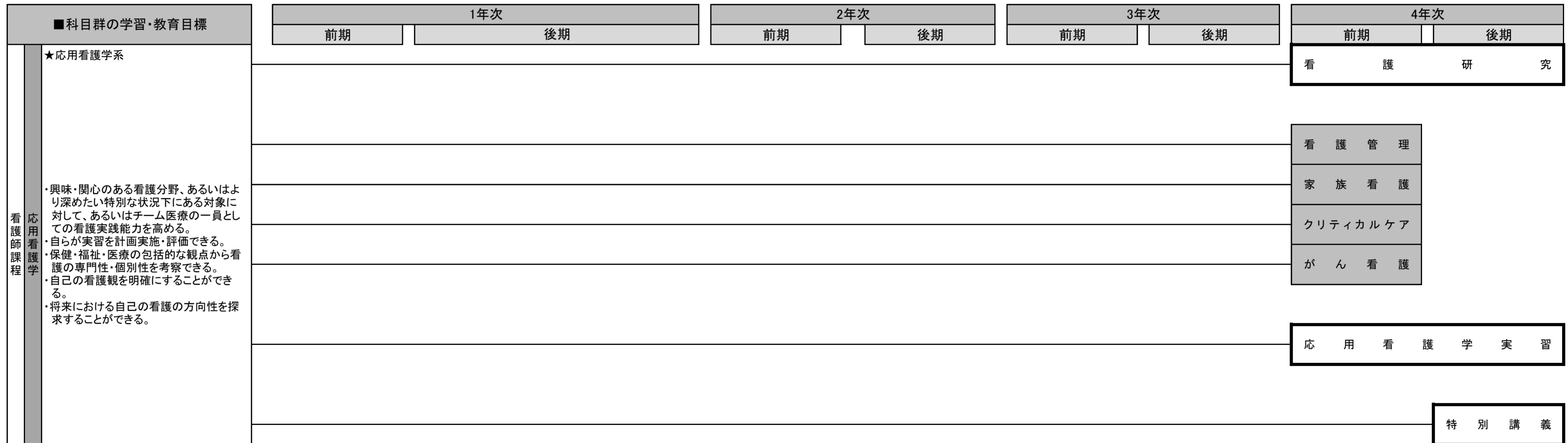
看護学科看護学専攻(平成28年度学則)【応用看護学分野】■学習・教育目標

必修科目

選択必修科目

選択科目

・看護の知識・技術を統合し、自らの関心領域における対象の特性と健康上の問題に応じた看護が実践できる。



看護学科看護学専攻(平成28年度学則)【公衆衛生看護学】■学習・教育目標

※保健師課程選択者は必修

・保健師課程履修者に対して、保健所及び産業保健領域における保健師活動の実際をととして保健師の役割を理解し、保健師に関する必要な知識を習得する。

■科目群の学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
★公衆衛生看護学系 公衆衛生看護学 ・公衆衛生看護活動の展開方法及び個人・家族・地域を支援する支援技術を理解する。 ・個人・家族が生活している地域のヘルスニーズを理解するとともに、人々がそのヘルスニーズを主体的に解決できるよう支援する保健師の役割や機能について理解する。 ・地域の健康問題の把握・予測・対応・組織的解決を図るための、公衆衛生看護活動の展開方法を理解する。 ・保健・医療・福祉などの知識を習得し、社会資源の開発、利用、調整、評価方法・地域の関係者や住民との連携を理解する。					公衆衛生看護活動方法論 I		公衆衛生看護活動方法論 II		
				公衆衛生看護活動論 I		公衆衛生看護活動論 II			
								地域診断演習	
									公衆衛生看護管理
								公衆衛生看護学実習 II	
								公衆衛生看護学実習 III	

看護学科看護学専攻(平成28年度学則)【助産学専攻】■学習・教育目標

※助産師課程選択者は必修

・助産師課程では、助産学の基本概念や助産師の役割・機能を理解し、助産過程を展開するための基礎的能力(知識・技術・態度)を養う。

■科目群の学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
★助産学系 助産学専攻 ・理論と技術を実践の場で統合し、対象に応じて助産師として活用できる基礎的能力を養う。 ・妊婦・産婦・褥婦・新生児の健康検査、保健指導ができる。 ・正常な経過をたどる産婦に安全な分娩介助(胎児・胎盤の娩出の介助、新生児の出生直後のケア、母子関係成立への援助、以上の早期発見と報告)ができる。 ・地域社会における母子保健の現状を分析し、母子の健康向上に向けて支援できる。						助産学概論		
							周産期医学 I	
							周産期医学 II	
							助産診断・技術学 I	
							助産診断・技術学 II	
							助産診断・技術学 III	
							助産診断・技術学 IV	
							助産診断・技術学 V	
							地域助産活動論	
							助産管理学	
								助産学特別講義
							助産学実習 I	
							助産学実習 II	
							助産学実習 III	
							助産学実習 IV	